

R2 清二中にやってきた昆虫たち 4 飛蝗Ⅱ

R2,8,5

先週に続き、中庭と第二校庭の草むらを歩いていると、足元からバッタたちが飛び出してきました。前回、出会ったあったバッタとは違う種類もいましたので紹介します。

●オンブバッタ バッタ目 オンブバッタ科



ショウリョウバッタ



名前は、雄（おす）が雌（めす）の背中に乗っていることが良くみかけられることから「おんぶ バッタ」と名付けられたといわれています。成虫の体長は、雌の方が大きく4 cm位、雄は3 cm位です。

体形は頭が三角形で、右の写真のショウリョウバッタに似ていますが、大きさは成虫を比べると二回りほど小さく、触覚も短いです。後足も短く、胴体も太目です。体色は緑の他に茶色のものも見かけました。ショウリョウバッタの雌は9 cmになるものもいますので、倍ぐらい違いますね。

❓ 動物では雌の方が雄よりも体が大きい場合が結構ありあります。その理由は何でしょうか？

しかし、ゴリラのように雄の方が大きい場合もありますね。その違いは为什么呢？
きっとそれぞれの利点（良い理由）があるのでしょね。考えてみてください。

●ヒシバッタ バッタ目 ヒシバッタ科



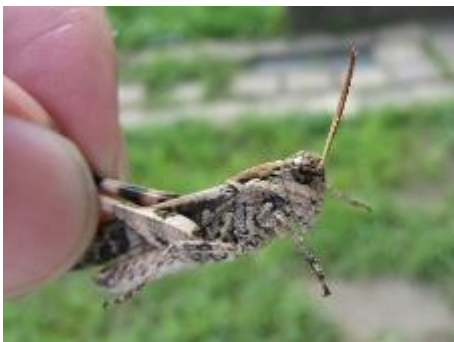
体長1 cmの豆粒くらいの小さいです。
体の色や模様は生活している場所によって、異なります

●イボバッタ バッタ目 バッタ科 (トノサマバッタ亜科)



灰褐色の体色で見た目にゴツゴツ感があり、胸部の背中にイボ状の突起があります。
大きさは雌が3 cm雄が2 cm位です。

●クルマバッタモドキ バッタ目 バッタ科 (トノサマバッタ亜科)



クルマバッタに似ているのでモドキとなっていますがこちらの方が多く見かけます。見分け方は上から見ると胸部の背中に白い×模様が入っています。トノサマバッタにも似ていますが後ろ翅を広げると車輪のような模様があります。

❓ 現在アフリカ大陸を中心に、サバクトビバッタが大発生して問題になっています。

昔日本でも、鹿児島県の馬毛島などで、トノサマバッタが大発生して問題になったことがあります。しかし人間に手が追えなかったのに… なぜ発生したのか？ バッタの変身のメカニズムは？ 何故、馬毛島では自然消滅したのか？ などについて調べてみると、興味深いことがわかりますよ。